

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1 26	「その人らしい暮らし」の情報が不足しており、介護計画に活かしてきれていない。	日々充実した生活が送れる。 その人ができる事を維持することができる。	その人の思いや過去の暮らしを本人、家族から再確認し、情報を増やす。 増やした情報をもとに、チームでアイデアを出し、その人らしい充実した生活が送れるような取り組みをする。 重度化しないよう、運動の機会を継続し、体力維持に努める。	6ヶ月
2	33	重度化や終末期に向けた体制整備が不足している。 職員に看取りの経験者が少なく、看取りの研修経験者も少ない。	医療連携が強化できる。 看取り指針を整備し、理解共有できる。	訪問看護等の医療連携に向け、法人内で導入できるように検討を重ねる。 重度化、終末期に向けた指針を作成し、それを基に職員研修を行う。 重度化、終末期に向けた指針を基に、本人・家族から情報を確認する際に、意向を確認する。	6ヶ月
3	2 35	地域密着型施設であるのに、地域との関わりが少ない。 他事業所との関わり、連携がなく閉鎖的である。 消防訓練をしているが、地域住民に周知できていない。	地域住民に施設と役割を今以上に認知していただき、地域と連携できる。	広報誌等を地域へ配布し、事業所や事業内容を情報発信する。 区社協との連携事業を促進する。 地域行事、会議の参加を促進する。 地域貢献、地域連携に向け他事業所との交流や連携の検討を促進する。 運営推進会議で議題にあげ、地域の方や地元消防団の方等に参加をしてもらえるような訓練ができるように検討する。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。